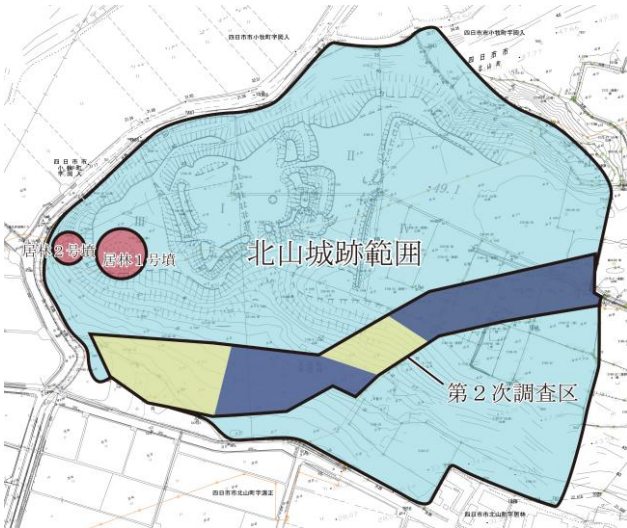


# 北山城跡 第2次 (No.6)

位置情報URL：<http://www.gis.pref.mie.lg.jp/mmm/index.html?z=64&ll=35.04694907407407,136.58115536723164>

**表土掘削が進行中です。**



## ←北山城跡表土掘削進捗状況

北山城跡第2次調査の表土掘削は順調に経過し、左図のように青の部分が7月までに完了しております。

黄の部分は、青の部分をこれから詳細に発掘調査を行った後に調査をする予定です。

青は2箇所に分かれておりますが右側が丘陵の上、左側が丘陵の下になります。



## ←丘陵下からみた北山城跡調査区

丘陵下からみた北山城跡調査区です。ご覧の通り、丘陵上と丘陵下でかなりの標高差があります。

そのため、丘陵下から上への移動は大変です。



## ←丘陵上表土掘削完了

調査区の丘陵上部からは、朝明川を見下ろせ、さらに天気の良い日には御在所岳も眺望できます。ここではこれまでの掘削で、弥生時代～古墳時代の竪穴建物の存在が確認できました。

竪穴建物は複数棟みられ、集落（ムラ）を構成しています。昔の人々も、こうした眺望が良い場所を意図的に選んで、ムラをつくったのでしょうか。



#### ←遺跡の境界線？

丘陵上には北山城跡の他にも、数多くの遺跡が展開しています。写真の右側は北山城跡（掘削後数日経過）、左側は中野山遺跡（掘削直後）となります。

こうした遺跡の境界線は、実際には不明瞭で、北山城に関する遺構や遺物が中野山遺跡で出土したりもします。また逆もしかりで、大きく重なっている場合もあり、複雑です。



#### ←丘陵下表土掘削中

丘陵下は一部、近代以降に斜面を切り出して盛り土がなされ、大きく改変されていました。しかし盛り土を取り除くと、下の黒っぽい土から須恵器や土師器、灰釉陶器が出土しました。

そのためここでは古代（奈良～平安時代）の建物跡が存在していた可能性が考えられます。



#### ←我々の命を守るテント

先ほどの写真にも登場していましたが、現場では常に直射日光を受けることが多いです。そのためこうした緊急の避難所をテントで作ることや、こまめに水分補給・休憩を取ることを心がけています。

これから、より暑くなっていきますので、体調管理に気をつけながら、発掘調査を進めていきます！

今後の調査の進展にご期待ください。

#### 【問い合わせ先】

三重県埋蔵文化財センター 調査研究3課 四日市整理所

〒512-8064 三重県四日市市伊坂町126-1

電話番号：059-363-3195/ファックス：059-363-3196

E-mail：[maibun@pref.mie.jp](mailto:maibun@pref.mie.jp)

担当：勝山孝文・矢田陽・宮原佑治